

■次世代オープンイノベーション協議会について

群馬大学「次世代モビリティ社会実装研究センター（CRANTS）」は、産学官連携を通じた次世代モビリティの社会実装加速を目的に、「次世代オープンイノベーション協議会」を設立している。

同協議会では、低速モビリティや超小型モビリティをはじめ、幅広い領域で研究・実証・普及活動を展開しており、産業界や自治体と連携しながら社会実装に向けた課題解決に取り組んでいる。

また、毎月、研究会やパネルディスカッションを開催している。

■研究会概要

2025年10月27日には「自動運転トラックの社会実装に向けた取組」をテーマとする第28回製造・生産システム研究会が開催され、当研究所から3名が参加した。同研究会では、自動運転技術をめぐる国内外の動向や社会実装の課題、事業化に向けた取組について多角的な議論が行われ、今後の普及シナリオに関する活発な討議が行われた。

本研究会において、当研究所の長谷川研究員が「公共交通（バス、タクシー、鉄道）における自動運転導入の効果影響分析と普及加速化に向けた対応策」と題して講演を行った。本講演は、共同研究調査「運輸分野における自動運転導入の効果・影響と普及加速化に関する調査研究（2023年度～2025

年度）」の成果に基づくもので、公共交通領域における自動運転の普及加速化に向けた現状、課題、および具体的な対応策を体系的に示した。



パネルディスカッションを行う長谷川研究員

「運輸分野における自動運転導入の効果・影響と普及加速化に関する研究調査」の活動内容・成果は運輸総合研究所のWEBページでご覧いただけます。
<https://www.jttri.or.jp/research/transportation/autonomous.html>

